

## 2019年アジアクラシックパワーの開催国変更について

日本パワーリフティング協会専務理事  
国際大会招致委員長 古城資久

既にお聞き及びのように、2019年アジアクラシックパワーの開催地が長野県白馬村からカザフスタンに変更されました。JPA選手、関係者各位に多大なるご心配をおかけいたしました。今回の事象に関してJPAからみた事実をご説明申し上げます。

1. 2019年アジアクラシックパワー選手権は当初、カタールにて開催されることが決定していましたが、しかしカタールが開催を返上し、2018年12月8日、モンゴル・ウランバートルで開かれていたアジアクラシックパワーリフティング選手権の会場で、突如日本に代替開催の要請がありました。
2. 同大会のさよならパーティーで2019アジアクラシックパワーの開催国を発表したいので、すぐに回答が欲しいと言われ、電話とメールをJPA常務間に回して開催を決め、APFに2019アジアクラシックパワーは日本で開催する、会場は長野県白馬村であることを伝達しました。
3. JPAは定款上、国際大会の開催は理事会決定事項であるため、1月26日の理事会で正式決定となるが、開催に関しては心配が要らないことをAPFに伝達していました。
4. しかし1月1日にIPFからメールで送られてきた国際大会スケジュールで、2019アジアクラシックパワーはカザフスタンで開催と表記されていました。
5. JPAは1月2日にAPFに連絡し、状況を聴きましたがAPF事務局は「日本開催で決まっているので、安心して予定通り進めてほしい」と言われました。
6. それでも心配であるため、1月6日にAPFに申し込みの書式があるなら教えてほしいと申し出ましたが、その書式は存在しないとの回答でした。
7. 1月26日に大阪でJPA理事会が開催され、白馬村での2019アジアクラシックパワー開催が全会一致で決定しました。JPA理事は開催地が変更になるとはだれ一人思ってもいませんでしたので、ダブルエントリーの取り扱いなど大会運営についても話し合いました。
8. 1月26日夜にAPFにJPA理事会でアジアクラシックパワー白馬村開催が正式決定し

たことを伝達しました。

9. 1月27日昼前に、APF事務局から感謝のメールが届きました。

10. しかしその5時間後に、2019アジアクラシックパワーはカザフスタンで行う。これはAPFの愚かなミスであった、許してほしいとのメールがありました。

以上が今回のアジアクラシックパワーの会場変更の経緯です。これ以外に1月29日にAPFからJPAのスポンサー企業あてにメールが届いていますが、そのメールはJPAに届いたものではありませんので、経緯の骨子からは除外します。

今回の会場変更はAPF内部の意思の疎通が不十分であったこと原因であるとJPAは考えております。JPAに落ち度があったとは認識しておりません。

日本でのアジアクラシックパワー開催を心待ちにしていた選手、審判、役員他関係者には心よりお詫び申し上げます。同時にこのようなことが二度と起こらないように、APFに改善を求めます。

なお今回の事象を受けて、APF主催大会でもIPF主催大会と同様にプロモーター契約を結ぼうという動きが他国から出ております。

以上